

11月1日(水)

『市政について』 栗東市長

『受講生の交流会』 健康福祉総研

市長の講義



栗東市は都市と自然を兼ね備えたバランスの取れたまちであり、その強みを活かした「楽しいまちを創る」ために、次の施策に打って出るための栗東市の現状から原因および根拠を把握し、政策の方向性「9の柱」についてお話していただきました。大学生からは、まちづくりに期待する声が上がっていました。

受講生の交流会



大学生には自己紹介カードを使って、講座のグループワーク時や休憩時間などを活用して、周囲の人との交流をされましたが時間が足りないようでした。今後の講座でも、さらに互いの交流が図れるといいなと思います。

11月8日(水)
『金勝寺の歴史を知ろう』
栗東歴史民俗博物館

現地にて、金勝寺の歴史を学ぶ予定でしたが、雨天により、中止となり、講座となりました。

金勝寺は、東大寺開創の立役者の良弁僧正により開かれました。その後、僧・願安によって伽藍が整備され仏像が安置されたと伝えられています。南部仏教の影響下で開かれた金勝寺ですが、金勝山の北麓が開発されるにつれ、北麓の集落とのつながりを強めていき、金勝寺を中心とした仏教文化が花開いていきました。

北麓の中で旧山口寺と大通寺について紹介されました。金勝寺文化圏のお寺と仏像の説明を受けて、参詣道にあるお寺にも興味が湧きました。



「仏像を拝見する際の視点はどこにあるか」

「仏像は寄木造や一本造」で製作されているが、見分けがつかないので、どこを見ればわかるか」など、大学生から様々な質問がありました。

大学生は「金勝寺への参拝を楽しみにしていましたが、中止となり大変残念」だという声がありました。

実際に金勝寺を訪ねて仏教文化を身近に感じて、学びを深めていただけるといいなと思います。

11月22日(水)

『身近な地域の支え合い活動について』
社会福祉協議会 地域支え合い推進員
滋賀県老人クラブ連合会



地域のささえあいが必要な背景について教えていただきました。これまでの講座でも、平均寿命と健康寿命の差を縮めることの重要性を学ぶことができました。今回は、『社会とのつながり』を失うことがフレイル(虚弱)の最初の入り口であることを学びました。『住民も専門職もみんなで支え合う地域づくり』の大切さを再確認することができた講座でした。

講師より、老人クラブが地域の身近な存在であり、地域の人への声かけや見守り活動を行っているお話を伺うことができました。高齢になると、出かける範囲が狭くなり身近な地域でのつながりが重要です。そこで、老人クラブの話は興味を持って聞くことができました。また、講師は、自治会でサロンを開催しており、食事の提供など実施しているなどのお話も聞かせてもらいました。

グループワークの様子

グループワークでは、地域で参加したい『つどい場』はあるかなどのお話し合いが活発に行われました。



11月29日(水)

より豊かな人生を過ごすために『ボランティア活動』

『栗東いきいき活動ポイント事業』

栗東ボランティアセンター

ボランティア活動について



ボランティアは、特別な活動ではない。いつでもどこでも、誰にでもできる活動！

ボランティア活動の種類やボランティア活動で大切にしたいことについて学びました。また、栗東市ボランティア市民活動センターでは、ボランティア活動したい人やボランティアを必要とする人の相談やボランティアの育成等を実施しています。大学生が卒業後、「生きがいづくり」「社会参加」の場の1つとして、活躍の場になることを期待する旨のお話がありました。

グループワークの様子



栗東いきいき活動ポイント事業について



栗東では、平成27年度から始まった事業で、現在、605人の人が登録し活動しているそうです。

この事業は、60歳以上の市民が個人宅、施設、地域で介護支援活動することに対してポイントが付与され、ポイントに応じて換金や寄付ができるという仕組みということでした。

まずは、興味のある方は事業説明会に参加してみよう！！